

金沢市近郊 私立大学等の特色化推進
プラットフォーム（私大等 PF）

「コロナ禍でも頑張る！金沢市近郊の大学・短大・高専が
地域とつながるオンラインシンポジウム」

アンケート結果（抜粋版）

令和3年6月24日(木)14:00-16:30 実施

Zoom ウェビナー、Zoom ミーティング

（私大等 PF 幹事校）

金沢工業大学

シンポジウムプログラム

14:00-16:00 第1部～第3部 (Zoom ウェビナー)

14:00-14:20 オープニング

- 幹事校 挨拶 金沢工業大学 学長 大澤 敏
- 「金沢市近郊 私立大学等の特色化推進プラットフォーム」の活動

14:20-14:50 第1部 コロナ禍の大学の就職活動・地元就職状況はどうか？

- 「コロナ禍就職を振り返って」
金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部 事務局 進路支援課 須田 華子
- 「コロナ禍の就活で変わったこと・変わらないこと」
金沢工業大学 進路開発センター 次長 二飯田 一貴

15:00-15:15 第2部 コロナ禍の小中高・大学の教育現場は、こう変わる！

- 「1人1台端末による教育の変化と教員の働き方」
北陸学院大学・北陸学院大学短期大学部 人間総合学部 教授 村井 万寿夫

15:15-15:45 第3部 大学で楽しく学んで、データを使える人材になる！

- 「社会で活躍するためのKITデータサイエンス・AI教育」
金沢工業大学 副学長 教授 鹿田 正昭
- 「文系・社会科学系におけるものづくりLabでの教育実践」
北陸大学 経済経営学部 講師 藤本 雄紀・ 助教 日下 恭輔

16:00-16:30 【番外編】大学紹介セッションルーム

(Zoom ミーティング・ブレイクアウトルーム)

ルーム名	主なセッション内容
① 金沢医科大学	大学概要、学部教育の特色のご紹介
② 金沢学院大学 金沢学院短期大学	大学概要・学科紹介、就職・卒業後の進路、オープンキャンパスのご紹介
③ 金沢工業大学	大学概要・学科紹介・データサイエンス教育・PBL教育・コロナ禍の就職実績
④ 金沢星稜大学 金沢星稜大学女子短期大学部	大学概要、CDP（キャリア開発プログラム）紹介
⑤ 金城大学 金城大学短期大学部	大学概要・学科紹介・オープンキャンパスの紹介（大学・短大共通）
⑥ 北陸学院大学 北陸学院大学短期大学部	学科紹介・地域連携プログラム・入試制度・奨学金制度のご紹介
⑦ 北陸大学	大学概要・学科紹介・地域連携活動紹介・オープンキャンパスのご紹介

当日参加者

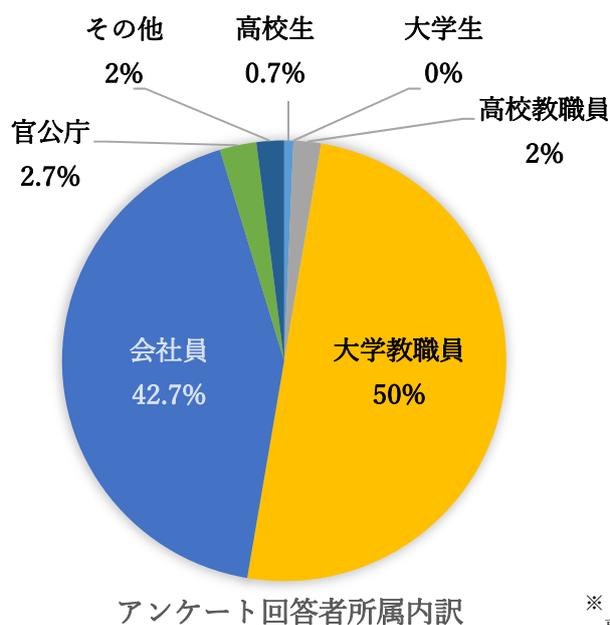
第1部～第3部 (Zoom ウェビナー)	人数		
	実数		
		251人	
【番外編】大学紹介 (Zoom ミーティング)	大学名	報告数	実数 136人
	① 金沢医科大学	3人	
	② 金沢学院大学 金沢学院短期大学	10～15人	
	③ 金沢工業大学	39人	
	④ 金沢星稜大学 金沢星稜大学女子短期大学部	5人	
	⑤ 金城大学 金城大学短期大学部	5人	
	⑥ 北陸学院大学 北陸学院大学短期大学部	7～8人	
	⑦ 北陸大学	17人	
	報告数合計	86～92人	

アンケート方法

- ・ 無記名式
- ・ 参加者に対して、Google Form を利用したアンケートに回答を依頼
- ・ 6月24日(木)から6月28日(月)まで実施

<p>金沢市近郊 私立大学等の特色化推進プラットフォーム (以下、私大等 PF) 令和3年度公開シンポジウム 「コロナ禍でも頑張る! 金沢市近郊の大学・短大・高専が地域とつながるオンラインシンポジウム」</p> <p>アンケート (無記名式) 1～5項目にご回答ください。</p> <p>[1] 所属をお聞かせください。 高校生 大学生 高校教職員 大学教職員 会社員 その他</p> <p>[2] 第1部から第3部の講演内容について、ご意見をお聞かせください。 第1部 コロナ禍の大学の就職活動・地元就職状況はどうなの? 「コロナ禍就職を振り返って」(金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部 事務局 進路支援課 須田華子) 大変よかった よかった 普通 あまりよくなかった</p> <p>「コロナ禍の就活で変わったこと・変わらないこと」(金沢工業大学 進路開発センター 次長 二飯田一貴) 大変よかった よかった 普通 あまりよくなかった</p> <p>第2部 コロナ禍の小中高・大学の教育現場は、こう変わる! 「1人1台端末による教育の変化と教員の働き方」(北陸学院大学・北陸学院大学短期大学部 人間総合学部 教授 村井万寿夫) 大変よかった よかった 普通 あまりよくなかった</p> <p>第3部 大学で楽しく学んで、データを使える人材になる! 「社会で活躍するためのKITデータサイエンス・AI教育」(金沢工業大学 副学長 教授 鹿田正昭) 大変よかった よかった 普通 あまりよくなかった</p>	<p>「文系・社会科学系におけるものづくり Lab」での教育実践」(北陸大学 経済経営学部 講師 藤本 雄紀・助教 日下 恭輔) 大変よかった よかった 普通 あまりよくなかった</p> <p>[3] 大学紹介にて、ご興味を持った大学等がありましたら、チェックを入れてください。(複数回答可) ①金沢医科大学 ②金沢学院大学 ③金沢学院短期大学 ④金沢工業大学 ⑤金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部 ⑥金城大学・金城大学短期大学部 ⑦北陸学院大学・北陸学院大学短期大学部 ⑧北陸大学 ⑨興味をもった大学等はなかった ⑩参加していない</p> <p>[4] シンポジウム全体を通してのご感想・ご意見・ご要望がありましたら、ご記入ください。(記述式) 例) ○○短期大学のコロナ禍でのオンライン対応について感銘を受けました 例) ●●大学の入学案内がほしい</p> <div style="border: 1px solid black; height: 30px; width: 100%;"></div> <p>※資料をご希望の場合は、以下のメールアドレスまでご連絡ください。後日、返信をお送りいたします。 pfsympo2021@mlist.kanazawa-it.ac.jp</p> <p>[5] 今後の私大等 PF の取組に期待することがありましたら、ご記入ください。(記述式) 例) オンラインでの就職活動にはメリットが沢山あることがわかりました。今後は12大学等が協力して、各自治体や産業界と共に就職支援を実施してほしい 例) オンラインでの教育活動について、各大学等の事例をもっと聞く機会を設けてほしい</p> <div style="border: 1px solid black; height: 30px; width: 100%;"></div> <p>アンケートにご回答いただきありがとうございました。 今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
---	---

【1】所属をお聞かせください。



アンケート回答者所属内訳		当日参加数	事前申込数
所属	人数		
高校生	1	1	2
大学生	0	2	1
高校教職員	3	1	3
大学教職員	75	144	130
会社員	64	96	109
官公庁	4	5	6
その他	3	2	
合計	150	251*	251
回答率		59.8%	
		(回答数/当日参加数)×100	

※「当日参加数」＝「事前申込数」ではありません。
事前申込をしたが、当日欠席した場合は、「当日参加数」に含まれていません。
事前申込をしないで、当日参加した場合は、「当日参加数」に含まれています。

- 事前申込数と比例して、アンケート回答者の所属内訳についても「大学教職員」と「会社員」（企業・官公庁）の回答数が大半となった。

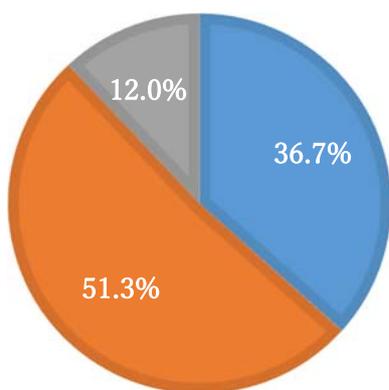
【2】第1部から第3部の講演内容について、ご意見をお聞かせください。

①第1部 コロナ禍の大学の就職活動・地元就職状況はどうなの？

「コロナ禍就職を振り返って」

(金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部 事務局 進路支援課 須田華子)

■大変よかった ■よかった ■普通 ■あまりよくなかった



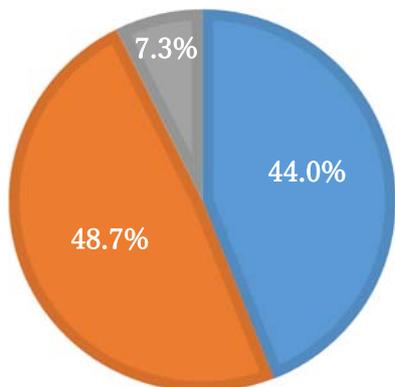
- 第1部の講演内容について、「大変よかった」36.7%、「よかった」51.3%で合わせて88%となった。全体的に満足度が高かった。
- 所属別の選択では、就職に関する内容ということもあり、「大学教職員」に比べて「会社員」の満足度が高い傾向にある。

②第1部 コロナ禍の大学の就職活動・地元就職状況はどうか？

「コロナ禍の就活で変わったこと・変わらないこと」

(金沢工業大学 進路開発センター 次長 二飯田一貴)

■大変よかった ■よかった ■普通 ■あまりよくなかった



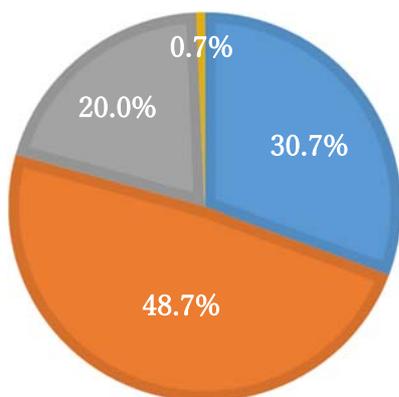
- 第1部の講演内容について、「大変よかった」44.0%、「よかった」48.7%で合わせて92.7%となった。全体的に満足度が高かった。
- 所属別の選択では、就職に関する内容ということもあり、「大学教職員」に比べて「会社員」の満足度が高い傾向にある。

③第2部 コロナ禍の小中高・大学の教育現場は、こう変わる！

「1人1台端末による教育の変化と教員の働き方」

(北陸学院大学・北陸学院大学短期大学部 人間総合学部 教授 村井万寿夫)

■大変よかった ■よかった ■普通 ■あまりよくなかった



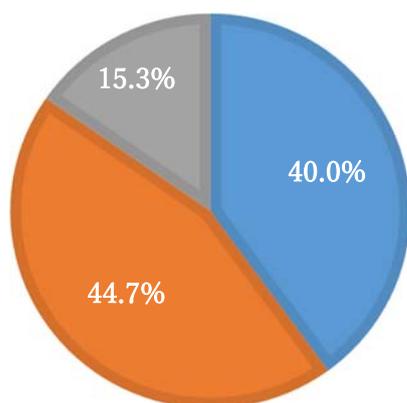
- 第2部の講演内容について、「大変よかった」30.7%、「よかった」48.7%で合わせて79.3%となった。全体的に満足度が高かった。
- 所属別の選択では、教育現場の内容ということもあり、「会社員」に比べて「大学教職員」の満足度が高い傾向にある。

④第3部 大学で楽しく学んで、データを使える人材になる！

「社会で活躍するためのK I Tデータサイエンス・A I教育」

(金沢工業大学 副学長 教授 鹿田正昭)

■大変よかった ■よかった ■普通 ■あまりよくなかった



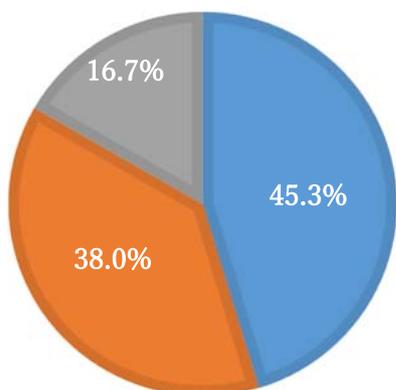
- 第3部の講演内容について、「大変よかった」40.0%、「よかった」44.7%で合わせて84.7%となった。全体的に満足度が高かった。
- 所属別の選択では、AIやデータサイエンスは社会で必要とされていることもあり、「大学教職員」と「会社員」ともに満足度が高い傾向にある。

⑤第3部 大学で楽しく学んで、データを使える人材になる！

「文系・社会科学系におけるものづくりLABでの教育実践」

(北陸大学 経済経営学部 講師 藤本 雄紀・助教 日下 恭輔)

■ 大変よかった ■ よかった ■ 普通 ■ あまりよくなかった

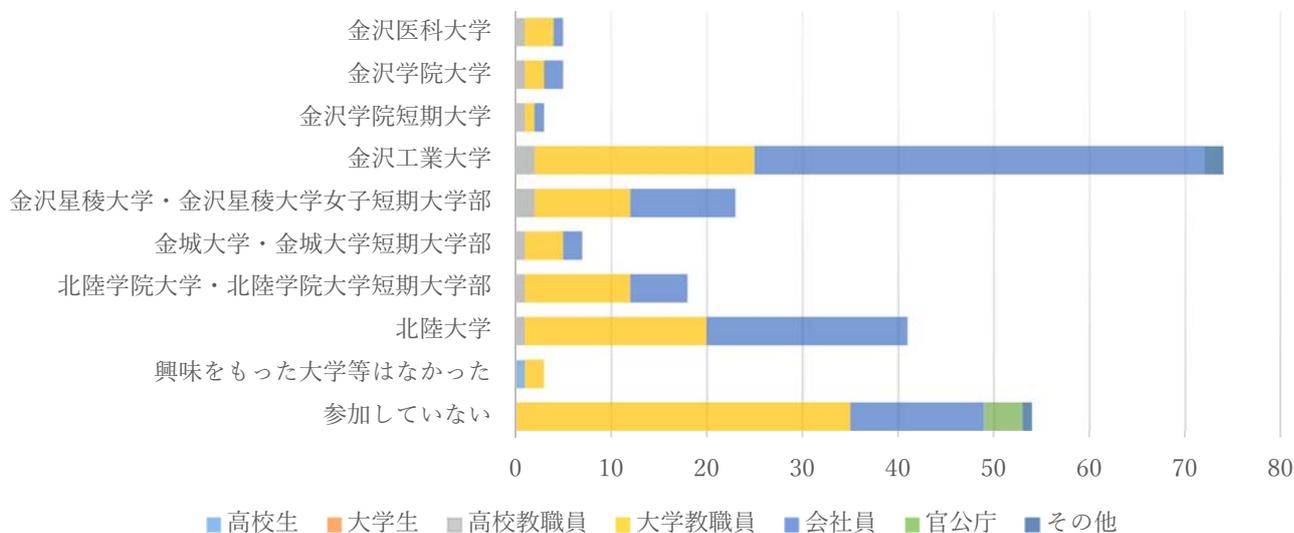


➤ 第3部の講演内容について、「大変よかった」45.3%、「よかった」38.0%で合わせて83.3%となった。全体的に満足度が高かった。

➤ 所属別の選択では、文系におけるものづくりという意外性から、「大学教職員」の満足度が高い傾向にある。

【3】大学紹介にて、ご興味を持った大学等がありましたら、チェックを入れてください。(複数回答可)

【番外編】大学紹介にて、ご興味を持った大学等



【4】シンポジウム全体を通してのご感想・ご意見・ご要望がありましたら、ご記入ください。(一部抜粋)

《シンポジウムの内容について》

[第1部]

- 文系・理系のコロナ禍での進路支援状況についてご教示いただき、非常に参考になりました。
- 貴重なご共有をいただきありがとうございました。金沢工業大学様のコロナ禍の就職活動で変わるもの変わらないものは企業・大学へ伝えていかなければならないものでした。またDX教育につき

まして他大学よりも早く大学全体で推進されているところ金沢星稜大学様の支援を止めない姿勢。それぞれの大学様の状況に大変感銘を受けました。

- コロナ禍における進路指導の問題点や苦労した点がよくわかった。学生との指導時間（オンラインを含め）が就職率に大きく関係していると感じた。
- 学生さんの就職活動に関する情報は、価値がある（多くの企業が興味を持つ）と思う。地元の大学からお話しいただく情報の方が価値があるように感じました。

《内容について》

[第1部]

- 今後のインターシップと求人活動の進め方の参考になりました。
- 就職活動に関するコロナ禍の影響と各大学の取り組みは参考になりました。
- 各大学の事業等興味深く聞けた。
- 発表内容にもありましたが、他大学間交流の場がさらに広がると感じました。

[第2部]

- 小中高での教育が、単純にPCが一人1台というだけでなく、それによって教育も個人も大きく変化していくことを改めて考える機会となりました。
- 本学でもGIGAスクールを意識し、Chromebookをレンタルパソコンとして導入した経緯があり、興味のある内容でした。

[第3部]

- 今回、北陸大学の藤本先生、日下先生のお話、大変興味深く聴かせていただきました。当社は製造業ですが、理系はもちろんのこと文系出身の方が入社されて、活躍できるサポートを会社側でも何ができるか悩んでいるとことでした。是非、もっとお話を伺いたいと思いました。
- 金沢工大、北陸大学のAI・データサイエンス教育の話題が面白かった
- 企業から参加させていただきました。文理関係なくIoT、AI、ICTの教育を重要視されていることに大変興味を持ちました。企業内でもデータを活用できるデジタル人材が不足しており学生時からデータサイエンスを学んだ人材は大変貴重です。どの業種の企業からも求められる人材になると思いますので各大学様の人材育成に期待しております。

[全体]

- 今回初めて参加しましたが、大変面白い内容で楽しめました。次回の開催についても、是非また参加したいと思います。
- それぞれの大学の取り組み方が似て異なるものであることが推察されました。
- 自分の専門外の各分野における最先端の動きや学説などを聞いたみたい。
- 小・中・大学生の親です。家で老親の面倒を見ながら子どもの教育・就職状況のお話が聞けてとてもありがたい企画でした。
- DX・AIに向けての大学側の活動状況を聞くことができ有益でした。また金沢市内大学のPF構想もとても面白い発想であると思いました。どうもありがとうございました。
- 県外からの受験をするためコロナ禍でどのような対応をされているか気になっていたのも、タメになりました。
- 各大学の取り組みがよくわかりました。どこの大学も文系理系関係なくIT教育に力を入れており、今後の取り組みにますます興味が湧きました。

《運営について》

- シンポジウムの録画が後日でも視聴できれば、ありがたい。本日、全ての発表を聞くことができなかったのと、他の職員にも視聴する機会があれば良いと思う。
- 各大学共に発表時間があまりにも短く残念でした。質問の時間もあればよかったです。
- セッションルームは、出入りが自由というのが良かった。気軽に、多くの大学の雰囲気を感じることができた。
- もっと各大学と意見交換できる時間が欲しかったです。

【5】今後の私大等 PF の取組に期待することがありましたら、ご記入ください。

《私大等 PF の取組について》

[全体]

- 次回は是非リアルで開催頂き、名刺交換会や懇親会などのコミュニケーションの場も設定頂ければ幸いです。
- 今回のようなシンポジウムを継続していただくこと、さらに小規模で、テーマ絞りこみ、時間もゆったりとった、インターアクティブなワークショップも企画していただければと思います。
- 二次元画面ではなく、VR を活用した未来の立体オンラインを実現させてください。
- 年に数回このようなシンポジウムなり、情報交換会などを開催できればありがたいです。
- 石川から全国に発信できるように今後もいろんなことにチャレンジして欲しいです。

[大学等、産業界、自治体との連携]

- 企業参加型による、パネルディスカッションを企画しても良いのでは？ご検討下さい。
- 石川県内の企業がオンラインの就活にどのくらいのメリットを感じておられるのか、またデメリットはないのか、そういった視点を大学の就職支援の観点から切り込んでいただけると興味深いと思います。
- 留学や地元企業との関連などにも関心があります。
- 各大学の学生による活動や取り組みの紹介を見たいです。
- 地域の私立大学等が問題を共有するとともに、連携することは大変注目する。
- 工学系にとどまらず、AI・DX に関する 12 大学の学部紹介など PF 活動の発展の一環として求人結び付きやすい情報があるととても有難いと思います。
- 私大等 PF の取り組み中、自治体、産業界との協働実績をご紹介頂く機会、時間を多くとって頂ければ幸いです。
- 各大学における共同の取り組みを先ずは増やして欲しい。
- オンラインや DX の教育について、いい点は良く講演で伺いますが、悪い点、改善点をもっと知る機会があるといいと思いました。
- せっかく 12 大学が集まっているので 1 つテーマを決めて討論する形式も聞いてみたいと思う。
- 企業の方も交えてや、研究に関することなどもっと幅広く話題がきけるとよいです。また、こういうシンポジウムを知る機会が定期的にあるといいと思います。
- 近隣の大学間で情報共有できることは大変すばらしいと思います。今後もこのような石川の大学間の情報共有の場を定期的な持てれば素晴らしいと思います。